

平成27年度第1学期

科学技術政策特論

第11回講義

深宇宙探査と国際協力

文部科学省宇宙利用推進室長

谷 広太 氏

谷室長からのメッセージ

近年、宇宙探査を巡って国際的な動向が大きく展開しています。

民間企業中心の月を舞台にした賞金レースや各国が主体になって行う月探査が計画され、さらにその先の将来には火星有人探査を視野に入れて、各国が技術開発を競い合っています。

我が国は、「はやぶさ」「かぐや」をはじめ無人探査機の活躍で世界最先端の宇宙科学の成果を出し、国際宇宙ステーションへの参加を通じた有人宇宙活動で宇宙先進国としての存在感を示してきました。国際的な深宇宙探査にどのように関わっていくべきか、一緒に議論したいと思います。

日時：

2015年6月19日

金曜日

5 講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

谷 広太 氏

1993年、京都大学大学院工学研究科修士課程修了、科学技術庁（現、文部科学省）入庁。原子力研究開発、地球・環境科学技術をはじめとする科学技術行政に長く携わられました。また、その間、在ドイツ日本国大使館で科学技術外交も担当されるなどして、2013年3月より現職。

担当：工学系教育研究センター 教授 渡邊康正
内線：6908

Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp